

## BEV シャシ向け電動式ごみ収集車 新「e パッカー®」を開発 新型「eCanter」架装の市販車第1号を納車

極東開発工業株式会社（本社：大阪府中央区淡路町二丁目5番11号 代表取締役社長：布原 達也）はこのたび、BEV（1）シャシ向けの電動式ごみ収集車 新「e パッカー」を開発し、三菱ふそうトラック・バス株式会社（本社：神奈川県川崎市中原区大倉町10番地 代表取締役社長・CEO：カール・デッペン）の電気小型トラック「eCanter」の新型モデルに架装した市販車国内第1号車（2）を株式会社ティエラル様（本社：香川県高松市上天神町620番地 代表取締役社長：杉田 直人）に納車いたしましたことをご報告いたします。

- （1）BEV：Battery Electric Vehicle（バッテリー式電動自動車）
- （2）2023年3月発売の新型「eCanter」に架装したごみ収集車かつ当社の新「e パッカー」のユーザ向け市販車として国内1号車。



BEV シャシ向け電動式ごみ収集車 新「e パッカー」  
（新型「eCanter」架装・ティエラル様納車車両）

当社は、2010年にリチウムイオンバッテリーで圧縮装置を駆動させる日本初( 3)の電動式ごみ収集車「eパッカー®」(初代)、2011年にPTO(パワーテイクオフ=動力取出装置)に加え3相200Vコンセントからの電気でも圧縮装置を駆動させる「ツインドライブ・eパッカー」、2014年に世界初( 3)のハイブリッドシャシの走行用モーターで圧縮装置を駆動させる「eパッカー ハイブリッド」をそれぞれ開発・発売し、電動式ごみ収集車のパイオニアとして市場を開拓してまいりました。( 3)当社調べ。

今回開発した新型車は、当社が今まで培ってきた電動技術とノウハウを生かし、BEVシャシの駆動用バッテリーからモータ式のePTO(新型「eCanter」にオプション設定)を介して動力を伝達することにより圧縮装置を駆動させる、走行も作業もフル電動のごみ収集車で、電動式ごみ収集車の代名詞として親しまれた「eパッカー」の名称を復活させました。

ティエラル様に納車いたしました新「eパッカー」1号車は、駆動用バッテリー2個搭載(Mサイズ、一充電走行距離(国土交通省審査値):213km)仕様の新型「eCanter」に架装したボデー容積7.1 m<sup>3</sup>の排出板押出式プレス式ごみ収集車(プレスバック®)です。

本車は、四国最大級の都市である高松市の商店街において事業用ごみの回収に活躍する予定で、排気ガスゼロ(CO<sub>2</sub>排出ゼロ)かつ音も静かというBEVごみ収集車のメリットを最大限に生かしたクリーンな作業を実現いたします。

極東開発グループでは、今後もカーボンニュートラルの実現に向けた一助となるよう、環境と社会に貢献する製品ラインナップの強化に努めてまいります。

#### 新「eパッカー®」の特長

##### 1. 排気ガス・CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンな作業を実現

走行・作業共にフル電動のため、排気ガスとCO<sub>2</sub>の排出がありません。( 4)

環境に配慮したクリーンなごみ収集車です。

( 4) 発電から充電までのCO<sub>2</sub>排出量は含まれておりません。

##### 2. 低騒音

エンジン車と比較して圧倒的な低騒音を実現。

早朝・夜間はもちろん、あらゆる場面で静かな作業を実現します。

### 3. エンジン車と変わらない仕様と作業性

エンジン車と変わらないボデー容積、投入口高さ、仕様およびオプション対応(5)を実現し、作業性を確保しています。

また、新型「eCanter」は豊富なシャシバリエーション(キャブ幅・ホイールベース・GVW(車両総重量)・バッテリー数等)を有しており、お客様のニーズにさらに幅広く対応することを可能としました。

(5)仕様により一部対応ができない場合がございます。詳しくは弊社営業担当までお問い合わせ下さい。



< 広報お問合せ先 >  
極東開発工業株式会社 総務部  
〒541-8519 大阪市中央区淡路町二丁目5番11号  
電話 (06) 6205 - 7800 F A X (06) 6205 - 7830  
ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>

製品のご商談に関するお問い合わせにつきましては、お近くの営業所まで連絡いただきますようお願い申し上げます。



極東開発グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。